

アンモニア単体で燃焼

中外炉工業 脱CO₂へ25年実用化

工業炉メーカーの中外炉工業は、アンモニアの燃焼技術は国内初。空気を流量制御技術を用いて安定燃焼させる技術を開発した。脱炭素の潮流が、2025年に工業炉での実用化を目指す。アンモニアは国がエネルギー利用を推進しているが、低温で着火しにくく燃焼

速度も遅いため燃焼開始時に化石燃料を使う必要があった。脱炭素の潮流が、2025年に工業炉での実用化を目指す。アンモニアは国がエネルギー利用を推進しているが、低温で着火しにくく燃焼

ア燃焼技術は国内初。空気の流量制御技術を用い、2つの空気の流れを作り一方を旋回させることで1200度まで実験炉の温度を上げることが成功した。窒素酸化物（NO_x）の排出量は都市ガスと同水準に抑えられた。